

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-540	24-001	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Depression and the risk of non-alcohol fatty liver disease: Results from a cross-sectional study and a Mendelian randomization analysis 抑うつと NAFLD リスクの関連:メンデルランダム化解析を用いた横断研究		
執筆者		
Lv D, Han N, Yuan M, Huang W, Yan L, Tang H.		
掲載誌		
J Affect Disord. 2024 Dec 1;366:300-307. doi: 10.1016/j.jad.2024.08.189.		
キーワード		PMID
抑うつ、NAFLD、横断研究、メンデルランダム化解析		39216642
要 旨		
背景: 既存研究において心理学的因子はNAFLDの要因であると考えられる。しかし、抑うつとNAFLDの因果関係は明らかではない		
方法: 2017-2018年米国国民栄養健康調査(NHANES)データベースからウイルス性肝炎や多量飲酒を除く3878人を分析対象とした。NAFLDはTransient elastographyのControlled Attenuation Parameter (CAP)値 ≥ 274 dB/mと定義した。抑うつはPHQ-9スコア ≥ 4 点と定義した。多変量調整ロジスティック分析にてオッズ比(OR)および95%信頼区間(95%CI)を算出した。メンデルランダム化解析では操作変数法を行い、抑うつと関連する36 SNPを操作変数とした。		
結果: 多変量調整ロジスティック分析にて抑うつはNAFLDと統計的に有意な関連を認めなかった(OR(95%CI)=1.21(0.99-1.47))。性別分析では女性のみ統計的に有意な関連を認めた(女性OR(95%CI)=1.33(1.03-1.72))。メンデルランダム化解析においても抑うつはNAFLDとの関連を認めた(OR(95%CI)=1.504(1.13-2.00))。Weighted median法でも抑うつとNAFLDとの関連を認めたが、MR-Egger regression, simple model, weighted modeでは統計的に有意な関連を認めなかった。		
結論: 抑うつは女性においてNAFLDとの関連を認めた。遺伝学的に抑うつはNAFLDの要因であると考えられた。		